

TPN 施行患者における肝機能障害に脂肪乳剤が与える影響についての検討

1. 研究の対象

当院で 2021 年 3 月 1 日～2021 年 3 月 31 日に、ネオパレン 1 号輸液(1000mL、1500mL)またはネオパレン 2 号輸液(1000mL、1500mL)のみを施行された方、もしくは加えて脂肪乳剤を施行された方

2. 研究目的・方法

高カロリー輸液(以下、TPN)はエネルギーをはじめ、体に必要な栄養素を補給することが可能ですが、TPN 施行時に非タンパクカロリーを糖質のみにすると、脂肪肝や TPN 関連肝障害への原因となることが知られています。そのため、TPN 施行時に脂肪乳剤を投与することは、脂肪肝や TPN 関連肝障害発生予防に有用であると考えています。そこで今回、当院における TPN 施行患者様において、脂肪乳剤の併用が TPN 関連肝障害発生予防に有用であるかを評価することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、診療科、高カロリー輸液投与期間、脂肪乳剤投与量、検査値(AST、ALT、T-BIL)等

研究期間：承認日～令和 4 年 3 月 31 日

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 薬剤部 川勝 勇樹

-----以上